

令和元年度第4回下野市総合計画審議会 会議録

審議会等名 令和元年度 下野市総合計画審議会
日 時 令和元年11月26日(火) 午前10時00分から11時10分まで
会 場 下野市役所 3階 303・304会議室
出席者 中村祐司会長、相澤康男委員、貝木幸男委員、高橋芳市委員、三橋明美委員、伊澤健二委員、佐藤司郎委員、大島雅之委員、川俣一由委員、諏訪守委員、小幡洋子委員、小池裕昭委員、熊田裕子委員、川田光一委員、佐間田香委員、新海将綱委員、前原保彦委員
【欠席委員】川中子幹彦委員、江田俊夫委員、山口貴明委員、木村保弘委員、近藤勘偉委員
市側出席者 (事務局) 福田総合政策課長、篠崎主幹、相馬主査
ランドブレイン株式会社(石村、伊藤)
公開・非公開の別 (公開 一部公開 非公開)
傍聴者 なし
報道機関 なし
会議録作成年月日 令和元年12月10日

1 開会

(事務局) 令和元年度第4回下野市総合計画審議会を開会します。

2 あいさつ

(事務局) 中村会長よりごあいさつをお願いします。

(中村会長) おはようございます。朝晩冷え込むようになり、本格的な冬が到来したように感じます。本審議会も第4回になります。これまで人口ビジョンの改訂と第二期総合戦略の策定に向けて進めてきたところです。本日は第二期総合戦略の素案が示され、今後予定されているパブリックコメントに向けて、本審議会での確認及び了承をいただく重要な内容となります。国の枠組みの中だけで地方創生を推し進めようというのはなかなか厳しいということが、この5年間、取り組むことで感じた個人的な感想であります。下野市のオリジナルな部分をいかに出していくことができるか。ここが大切なことだと思います。そこの知恵を出していただけるのが、委員の皆様だと思いますので、本日もどうぞよろしくお願いいたします。

3 議 事

(事務局) 審議会条例第6条第1項に基づき、会長が議長となります。議事進行を中村会長、お願いします。

(中村会長) はじめに、会議の成立、会議録署名人の確認を行います。本日は出席委員が17名、欠席委員が5名であり、出席者が定数22名の過半数を超えているため審議会条例第6条第2項により会議は成立となります。また、本日の会議録署名人は、慣例に従い名簿順に大島委員、川俣委員にお願いします。なお、本日の傍聴人はおりません。それでは議題に入る前に、資料の差し替えがありますので、資料の確認を事務局よりお願いします。

(事務局) [配付資料の確認]

事前に郵送させていただいた資料1「第二期まち・ひと・しごと創生総合戦略(素案)」は、大変恐縮ではありますが、本日皆様の席に配布をしている「資料1(差し替え)」と記載しているものと差し替えをお願いします。また、「しもつけクエスト」及び「スポーツ能力測定会」のイベントのチラシを配布させていただきました。

(1) 第二期下野市まち・ひと・しごと創生総合戦略(素案)について〈資料1(差し替え)〉

(中村会長) それでは議題(1)に入ります。資料に基づき事務局より説明をお願いします。事前に郵送で送付された資料を読み込んできた委員の皆様も多いことと思いますので、差し替えの資料での変更点なども含めて説明をお願いします。

(事務局) 資料1(差し替え)により、主に変更点について説明いたします。

◆第二期まち・ひと・しごと創生総合戦略(素案)について

○これまでに3回開催した本審議会の検討・検証を踏まえ、素案を作成した。第1回では平成30年度のKPIの進捗状況、総合戦略を策定する上での国の方針を報告し、第2回では今までの取組に対する総合的な評価や意識調査の結果、市の強み・弱みについて報告した。第3回では第二期総合戦略における数値目標やKPIについて説明し、委員の皆様からいただいたご意見・ご提言をもとに修正を加え素案を作成した。

○資料1(差し替え)において、赤色の文字が前回(第3回)との変更箇所、さらに赤色の文字に黄色のマーカーを付けた個所が、事前に郵送で送付した資料と本日差し替えた資料の変更箇所となっている。

○各基本目標における(ア)、(イ)、(ウ)等の項目ごとに「SDGsへの貢献」という形で、その項目の施策がSDGsのどの目標に貢献しているかを記載した。

○委員の方から出されたご意見を参考に、基本目標①の(イ)地域の特性を活かした農業・農村づくりにおける、「①都市近郊型農業の推進」(15頁)の具体的な事業に「(生産者と消費者の交流)」及び「スマート農業への取組支援」を加え、「②農業経営の改善」の具体的な事

業に「農福連携事業の推進」を加えた。

- 基本目標②の（ア）「住んでみたい」（移住）「住み続けたい」（定住）を促す取組の推進（19頁）の「④移住希望者への積極的な情報発信と移住相談の充実」の具体的な事業として「Uターン促進事業」を追加した。また、（イ）魅力あふれる「観光まちづくり」の具体的な事業として記載されている地産地消推進事業に「（生産者と消費者の交流）」の記述を追加した。
- 基本目標③の（ア）心身ともに子どもを健やかに産み育てる環境整備の「③育児不安の軽減と虐待防止への支援」（23頁）の具体的な事業に、「地域子育て支援拠点事業（子育て支援センター）」を追加した。また、「⑤豊かな子どもを育む地域力の向上」の具体的な事業「放課後子ども教室の実施調査・検討」を修正した。
- 基本目標④の基本的方向（26頁）に国土強靱化に関する一文を追加した。これは、国の方針において、地域経済の活性化のためには、人々が安心して住み続けられるまちづくりが必要であり、国土強靱化など、安全・安心に関する取組と連携することが重要であるとされていることから加えたものである。また、これと関連して（ウ）安全・安心・快適な環境づくりの「①安全・安心な生活環境づくり」の説明文（33頁）及び具体的な事業（34頁）に、国土強靱化地域計画の策定に関する記述を加えた。
- 本審議会でこれまでに出されたご意見を参考に、基本目標④の（イ）生涯にわたって学習できる環境づくりの「①将来を担う人づくり」の具体的な事業として、「学校運営協議会による学校運営への参画の推進」、「特別支援教育の推進」、「食育の推進」を新たに加えた。「②生涯にわたり学べる機会づくり」の具体的な事業には「地域学校協働活動推進員の活用」を、「④文化芸術と文化遺産による豊かな生活環境づくり」の具体的な事業には「文化財保存活用地域計画の策定」をそれぞれ追加した。
- 12月に開局するコミュニティ FM は、自然災害時に避難情報等を発信する防災ラジオでもあることから、基本目標④の（ウ）安全・安心・快適な環境づくりの「①安全・安心な生活環境づくり」の具体的な事業として「コミュニティ FM（FM ゆうがお）による情報発信」を追加した。

（中村会長） 差し替えの資料での変更点を中心に説明いただきました。全てではありませんが、審議会で出された意見を具体的な事業などに極力反映していただきました。会議直前まで、検討いただいたということです。本日の審議会で最終チェックを行い、12月にパブリックコメントを予定しています。KPIとして入ってなくても、具体的な事業に盛り込まれていることがとても重要だと思います。事務局より説明のあった変更点についてだけでなく、全体を通してご意見がありましたらお願いいたします。

（川俣委員） KPIの「土地区画整理事業整備面積」（17頁）について、項目の説明欄に全体面積を入れてはいかがでしょうか。全体面積があって、そこから基準値や目標値が設定されてくるものと思います。まずは全体としてどのぐらいあり、そのうちの477.8haの整備が終わり、5年後の目標値として50

2. 7 h a まで整備していき、残りが何 h a あると記載した方が分かりやすいと思います。

(中村会長) この点、全体の面積を入れることは可能でしょうか。

(事務局) 所管課に確認して入れる方向で検討したいと思います。

(中村会長) それでは事務局に一任することとし、入れる方向で進めてください。少しでも分かりやすいものにしていただきたいと思います。同じく、基本目標②に関して言えば、当初、政府は東京の一極集中を是正することを最重要課題として掲げていましたが、実際は東京の一人勝ちの状況が続いています。そのため、東京への人口流入の是正を声高に言うのをやめ、都市部に住みながら地方と交流する「関係人口」を重視していくことにシフトしました。そのような状況の中でも、下野市では東京圏からの転入者数を増やしていくことを引き続き数値目標として掲げています。これは、人口減少が続く地方においては設定することが難しく、それを引き続き目標として掲げることはすごいことでもありますし、下野市の強みだとも言えます。関係人口、交流人口だけでなく、転入者を増やすという目標を掲げていることは評価できる点だと思います。また、SDG s についても、細かく記載することは求めませんが、このように関連付けしていくことが大切なことだと思います。大きく変更するご意見等がないようでしたら、もちろんこれで確定ということではありませんが、まずは本審議会として、こちらの内容でパブリックコメントに諮ってよろしいか伺いたいと思います。委員の皆様、了解いただけますでしょうか。

(委員) <「異議なし」の声>

(中村会長) ありがとうございます。それでは、先ほど川俣委員からいただいた意見を踏まえて修正した上で、本日示された第二期総合戦略（素案）をパブリックコメントにかけたいと思います。以降、第二期総合戦略の推進に向けて、全体を通して自由にご発言いただきたいと思います。

(貝木委員) 26 頁に関することです。以前の会議でも自主防災組織が増えていかないことについて質問し、前向きに取り組んでいただけると回答をいただいたところではありますが、取組を継続的に支援するとはどういうことを想定しているのでしょうか。

(事務局) 詳細については事務局では把握をしていないところではありますが、数がまだ少ないので、設置に向けた働きかけはもちろんのこと、立ち上げや活動の支援を進めていきたいと考えております。

(貝木委員) 私の所属する自治会は5年ほど前に自主防災組織をつくり、市からも30～40万円ぐらいだったと記憶していますが、助成をいただいて取り組んできました。ある程度大きな自治会であれば、この助成を使い切っても自治会の予算の中で続けられると思いますが、小さい自治会では助成をいただいた後

に継続していくことが厳しい。自治会も自主防災組織が重要だとは分かっているけれども、財政的な面で継続が難しくなると思います。そのため、組織への継続した支援をお願いしたいと思います。

(事務局) 所管課である安全安心課へ伝えさせていただきます。

(貝木委員) ありがとうございます。市内においても今年の台風19号の被害がありましたので、よろしくをお願いしたいと思います。

(中村会長) 私事ですが、栃木市の総合戦略の策定などにも携わっており、昨日会議に出席してきました。副市長のお言葉の中で、まだまだ復興には道のりが長い、1か月以上防災服を着ていて、ようやく脱いでもいいかなと思いつつ始めたところだとおっしゃっていました。それだけ長い期間、災害による復旧・復興を中心に業務にあたり、職員の方々の疲労もかなりのものなのだろうと感じました。年内はもちろん、来年も復興作業に取り組まれると思いますが、行政の職員の方々の体調管理も重要なのだと思いました。そのようなこともあり、総合戦略などにおいても災害に関する文言を記すことは大切なのではないのでしょうか。ぜひとも、市民の方にも読んでいただき、パブリックコメントでも意見を出していただきたいと思います。

(佐間田委員) K P Iの「産後ケアサービス提供施設数」(22頁)については、前回の会議において意見を出させていただきましたが、その会議の後に、産婦人科で働いているスタッフの方とお話しをさせていただきました。市からお願いをされれば施設長である病院長は了承するので、結果として施設数としては増えると思いますが、お母さん方は利用しないのではないかとのことでした。費用の面で利用者の負担もあります。また、奥さんが入院で一週間いないだけでも家庭の中は大変だったりするので、実際にお母さん方が望むことは、家事の手伝い、買い物の代行、一時的に預かってくれるなどといった支援であって、施設とは違うのではないかという意見でした。もう一点、話題は変わり、総合戦略には直接的に関係ないかもしれませんが、行事やイベントの際にカンピクンのステッカーやシール、ぬいぐるみなどのグッズを子どもたちがいただきますが、帰りにゴミ箱に捨てられているのをよく目にします。これも税金で作られているのかと思うと、もったいないと残念に思います。予算の関係もあってシールなどにしているのかもしれませんが、もし配るのであれば、エコバッグなど捨てられずに使われるものにしてはどうかと思いました。

(中村会長) 前半部分のご指摘はとても重要なことであって、総合戦略の検証作業をするときに、背景などをもっと見ていく必要が出てくると思います。K P Iは目的ではなく、検証する際の手段でしかありません。関連する意見をたくさん出していただいて、実のところどうなのかという話をしていくことも大切だと思います。貴重なご意見ありがとうございます。後半部分に関しては、ス

テッカーなどは PR のためではあると思いますが、行政としては難しいところではないかと思います。

(事務局) 予算の関係もあるため、無料でお配りできるものも限られてしまうのだと思いますが、エコバッグなどのアイデアは所管課のほうに伝えさせていただきます。

(伊澤委員) 26 頁に災害に関する記述が記載されました。台風 19 号の際、市として避難所を当初 2 箇所開設し、追加で国分寺西小を開設したかと思いますが、市のハザードマップを見ると他にもたくさんの避難所があります。そこに避難したが真っ暗で、鍵がかかっており中にも入れず、車の中でしばらく過ごしたという方がいました。市として何か所、避難所を設置するというのではなく、ハザードマップに記載している避難所は全て開いている必要があるのではないのでしょうか。職員がいなければ、関係機関に協力してもらうなどして避難所を開けていただきたいと思います。今後も同じような災害が起こらないとも言えないので、今回の件を教訓にしてもらいたいと思います。もう一点、現行の総合戦略では施設を整備するといった K P I がありました。施設を作っても、どのくらいの集客があるのかをみる必要があります。人を呼ぶための施設であれば、集客人数なども見ていく必要があると感じました。

(中村会長) 委員ご指摘のとおり、施設を作ったその後を見ていくというのは重要なことだと思います。避難所が開いていなかったという点に関しては、事務局で経緯などは把握していますか。

(事務局) 担当ではないので推測になってしまいますが、避難所が開いていなかったというのは、南河内地区の第 1 次避難所となっているふれあい館のことかと思えます。ふれあい館は現在大規模な改修中であり、2 階は照明も点かないことから、ふれあい館ではなく南河内公民館を避難所として開設したものと思われる。夜になってから開けるという方針が出て、私も自宅が近いことからふれあい館に行くよう指示がありました。すぐに向かいましたが、ふれあい館を避難所として開設するという情報がまだ出ていない時点で、車は大渋滞、駐車場も開いていない状況でした。情報伝達、開所の有無、職員の施設設備の把握など課題があったため、担当者へは既に報告を行っていますが、改めて担当課へ伝えたいと思います。

(中村会長) そういう意味では、これから開局するコミュニティ FM が、そのような情報伝達に力を発揮するのではないのでしょうか。

(相澤委員) これまでは、災害が少ないまちということで市も PR を行ってきましたし、多くの方がそう思っていたので、市民も職員も訓練が疎かになっていたと思います。私も反省するところが多々あり、今後は市とともに取り組んでいき、避難所の看板など改善すべきところもあったので、それらについては市で取り組まれていくことと思います。もう一点、「文化財保存活用地域計画の策定」

(33頁)に関してです。これまで文化財は保存するものとされてきましたが、最近は国でも保存をしながら活用するということが進められており、下野市においても地域計画の策定がされるということです。南河内町時代ですが、下野薬師寺跡に一部が復元されている回廊は、およそ1億8千万円かかったと聞いています。ノートルダム、首里城、白川郷と、火災が発生していますので、火災をはじめ落書き等の対策も行いながら、近隣との連携や発掘調査などを進めてもらい、KPIにもなっている歴史館の来館者数を増やして欲しいと思います。

(中村会長) やはり災害に関しては一人ひとりが考えていく必要があるということですね。ありがとうございます。文化財や歴史は下野市の特徴の一つですし、下野市では様々な取組を行っているようですので、保存と活用を両立しながら進めていただけると良いのではないのでしょうか。

(諏訪委員) 何点か意見を述べさせていただきます。はじめに、31頁に記載のある「学校運営協議会」の活用についてです。私は、国分寺東小の学校運営委員になっていますが、学校と懇談しても、校長、教頭、運営委員会の担任の3人の先生としか意見交換ができません。校長先生のところにまで上がってくるような情報は意見交換ができますが、それぞれの先生が持っている「このようなことに困っている」という細かな情報は分かりません。もう少し具体的に話し合いができれば良いのではないかと考えます。併せて、他の学校の運営委員の方たちとも話し合いができればと思います。まだまだ学校は閉鎖的な部分があり、この学校のことはこの地域の中だけで解決しなければならないという考えが根強くあるように感じます。地域の子どもたちを健全に育成していくことが目的なのであるならば、下野市全体で考えていく必要があるのではないのでしょうか。続いて、同じく31頁に記載されている「地域学校協働活動推進員」についてです。地域学校協働活動推進を設置するとあるが、具体的に何をやるのか。そこをきちんと協議してから設置していただきたいと思います。最後に、15頁に記載のある「農福連携事業」についてです。農福連携とはどういうことか。具体的にどういふことをやるのか。私も福祉施設の理事をしており、農福連携を行っているが、まだまだであります。60歳近い方が、自分の学生時代には、すでに農福連携という話は出ていたとおっしゃっていました。つまり、昔から農福連携については言われてきていましたが、実際はなかなか進んでいないということです。その方は、農業をやるために地元に戻ってきた方で、作業の中にはお願いしたい部分もあり、障がい者の方の個々の能力に応じてできることがあると話していました。農福連携として漠然と推進するのではなく、市の方で振り分けと筋道を立てていただければと思います。農家の高齢化も進んでおり、労働力も後継者も不足しています。そして、遊休農地が発生している原因を把握し、対策を進め

ていく必要があるのだと思います。

(中村会長) 3つのご指摘だったかと思います。総合戦略は、具体的な施策、事業を掲げた計画となっており、様々な分野に関わるものなので、この総合計画審議会で議論して、様々な意見が出されることは強みだと思います。多くのご指摘をいただき、ありがとうございました。他にご意見がないようでしたら、議題(1)については以上とさせていただきます。

(2) その他

(中村会長) 議題(2)に移ります。事務局からお願いします。

(事務局) はじめに、今後の予定についてですが、12月にパブリックコメント、議会への説明を行う予定です。パブリックコメントの意見を踏まえ、1月22日に開催を予定する次回の総合計画審議会にて、第二期総合戦略の最終版という形でお示しさせていただきます。続いて、本日も机上に資料(イベントのチラシ)を配布させていただきましたのでご覧ください。

(12月2日開催、関係人口創出事業「しもつけクエスト」)

(12月22日開催、日本航空で開催する「スポーツ能力測定会」)

(中村会長) 本日の議事は以上となります。委員の皆様、ありがとうございました。

4 閉会

(事務局) 委員の皆様、そして中村会長ありがとうございました。以上をもちまして令和元年度第4回下野市総合計画審議会を閉会します。

以上

会議の経過を記載し、その相違がないことを証するためにここに署名する。

会 長（中村祐司）

署名委員（大島雅之）

署名委員（川俣一由）
